令和7年7月11日（金）　日本海新聞

全国高校野球兵庫大会

浜坂・村岡が初戦突破

投打かみ合い確実得点

2回戦・県農ー浜・村　浜坂・村岡合同チームは三回、吉田が左翼越えの適時二塁打を放ち先制＝10日、淡路市の淡路佐野運動公園第一野球場

第107回全国高校野球選手権兵庫大会（県高野連など主催）は10日、県内8球場で2回戦16試合が行われた。美方郡勢の浜坂・村岡合同チームは淡路佐野運動公園第一野球場（淡路市）で県立農業と対戦。3―0で勝利し、初戦突破を果たした。次は、14日（午前10時）に神戸総合運動公園サブ球場（神戸市）で、県立伊丹と対戦する。

▽2回戦
県立農業　000000000―0
浜坂・村岡　00110100×―3
▽三塁打　小林壮（浜・村）▽二塁打　吉田（浜・村）

⑪…先制点を奪い主導権を握った浜坂・村岡は、投打がかみ合い、好機を確実に得点に結び付けた。

三回に吉田の左越え適時二塁打で先制。均衡を破ると四回、小林壮の右翼への三塁打から白岩の中犠飛で追加点を挙げ、六回には浅田の中前適時打で3点目を奪い、リードを広げた。

先発の小林壮は三度三塁を踏ませるも要所を締め、8回無失点の好投。野手陣も無失策で投手を支えた。

無失策の守備陣光る

選手たたえ、応援団総立ち

試合が終わると、球場に詰めかけた浜坂・村岡の約100人の応援団が総立ちで選手たちに拍手を送り、勝利を喜んだ。森本監督は「締まった良いゲーム。初戦突破が成し遂げられて本当によかった」と選手の活躍をたたえた。

三回表の1死二、三塁の危機をしのいで迎えた裏の攻撃。1死二塁で打席を迎えた吉田は「自分が打たないと」。自らを奮い立たせて夢中で放った打球は想像以上に伸び、チームに待望の先制点をもたらした。

無失策の守備陣の安定感も光った。浜坂主将の浅田は「点を取られそうなところで踏ん張れて、無失点で抑えられた」と胸を張る。

8回を投げたエースの小林壮は、四回に三塁打を放つなど、4打数2安打と投打で活躍。九回に両足がつって交代し「投げ切りたかった」と悔しがるが、「守備のリズムを自分が作るという気持ちで投げる」と、その目は次戦に向く。

浜坂としては昨夏に続く2大会連続の初戦突破。昨夏は部員不足で出場を見送った村岡の主将白岩は頬を緩ませた。「村高としては21年ぶりの勝利だったのでとてもうれしい」。夏舞台を共に戦う浜坂の選手に感謝をささげた。

（安部航太）

浜・村3－0県農

【県　農】	打	安	点
⑤ 牟　田	4	0	0
9 上　村	0	0	0
④ 森	4	0	0
⑧ 森　井	4	1	0
③ 塩　谷	3	0	0
② 山　崎	2	0	0
⑥ 片　岡	3	0	0
① 小　野	2	1	0
⑤ 池　辺	1	0	0
⑦ 高　見	2	1	0
計	25	3	0

【浜・村】	打	安	点
⑤1吉　田	3	1	1
④6山　本	4	1	0
② 黒　坂	3	1	0
① 小林壮	4	2	0
7 平　松	0	0	0
③ 白　岩	2	0	1
⑨ 浅　田	4	1	1
⑨5山　崎	4	2	0
⑧ 鶴　田	2	0	0
⑦4中　井	2	0	0
計	28	8	3

◇全国高校野球兵庫大会（10日）

▽2回戦

六甲アイランド	5―4	姫路南
龍野	11―0	相生産
加古川西	11―10	篠山産
姫路商	7―6	山崎
神港学園	3―0	星陵
網干	9―2	川西明峰
長田	11―0	龍野北
小野	8―0	豊岡
西脇工	4―0	尼崎北
神戸学院大付	7―0	三田祥雲館
尼崎西	1―0	北条
浜坂・村岡	3―0	兵庫農
県伊丹	4―2	神戸鈴蘭台
川西北陵	4―1	柏原
須磨東	3―2	東播工
明石城西	13―2	和田山